

星峯西校区コミュニティ協議会会報

第18号

令和7年11月20日
発行・編集 広報部
鹿児島市星ヶ峯
4丁目9-1
校区公民館1階
電話 800-4715

みんなで創る

心かよいあう

星峯西校区

くろぢょか

校区行事開催時期を変更

地球温暖化の影響により、今夏も気温が35℃以上の猛暑日が続きました。昨年度の夏祭りの反省から夏場の校区行事の見直しを行い、今年度から変更しました。

東西両校区で行われる団地祭りを8月から9月に変更し、開催しました。当日の会場づくりには東西小学校の『おやじの会』や星中のPTA役員、ボランティアの方々が朝の7時から準備に汗を流して頂くなど、地域コミュニティの担い手として尽力くださりました。高齢化が進む団地において頼もしい光景であり、これからの星ヶ峯団地の活性化が期待できると確信しました。

祭りは星中の吹奏楽部、東西小学校の金管バンドによる合同演奏で、「星ヶ峯団地はひとつ!」を印象付ける素晴らしい演奏オープニングを飾って頂く中、多くの来場者で賑やかな祭りとなりました。

最後は『株斗建工業』さんの志による、夏の夜空を彩る打ち上げ花火で盛会のうちに幕を閉じました。校区運動会も6年ぶりの開催となりましたが、若い方々を中心に準備をして頂き、午前限りの開催でしたが大変盛り上がった運動会となり、「来年も開催してほしい!」と要望が寄せられています。高齢化社会や開催時期について、各種校区行事に校区民が参加しやすい環境づくりに努めてまいりますので、これからも皆様のご意見やご参加をお願い致しますと共に、団地の活性化に一緒に取り組みましょう。



星峯西校区
コミュニティ協議会
会長 三反園 輝男

…ちよこっど見聞録…「地域で子育て・親育ち」シリーズ ⑥

鹿児島みなみ子ども劇場

茶 圓 美由紀

子ども劇場は57年前、福岡で生まれました。共働き世帯が増え、テレビの影響で子どもたちの自由に遊ぶ環境が失われていく危機を感じた母親や青年達が、小さな遊び会から始め、子ども達の心を育む活動として五感に働きかける観劇や、自然体験を通したキャンプなどで異年齢の仲間づくりをしてきました。このような活動が全国に広まり、鹿児島でも今日まで続いています。



子ども達が自分とは違う意見を出し合い、お互いに聞きながら、失敗に失敗を繰り返し小さな成功を重ね、相手を知ることによって「私は私でいい」という背定感が生み出されていくと確信しています。子どもだけでなく大人も、異年齢の仲間と一緒に育ち合えることを感じています。そんな環境の中で大人も子どもも関わっていったら嬉しいです。